



わかたけ

学校通信

練馬区立大泉西小学校
学校通信 4月号
令和4年4月6日発行
編集責任者 校長 岩切 洋一

<http://www.ooizumi-w-e.nerima-ky.ed.jp/> 学校HP 毎週更新中!

新年度を迎えて

校長 岩切 洋一

校舎西側にある桜から美しい花吹雪が春の柔らかな青空に舞っています。今日まで冷たい雨風に耐え、お子さんたちの入学や進級を祝ってくれているかのようです。

新生児70名と転入生1名を迎え、児童数382名で大泉西小学校の令和4年度が始まりました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延が続く中、教育活動にもまだまだ厳しい制限が加えられていますが、お子さんの着実な健全育成に向けて、教職員一人一人、日々精一杯の努力を傾けてまいります。

さて、本校では今年度から教育目標を一新し、お子さんの学力、体力、社会性のより一層の向上を図っていくことにしました。

次のようなものになります。

- | | |
|--------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 「なりたい自分」を語る子ども | <input type="radio"/> 「なれる自分」を広げる子ども |
| <input type="radio"/> 自らに価値を感じる子ども | <input type="radio"/> 自分以外の人に思いを寄せる子ども |

これは次のようなストーリーを描いて設定したものです。

子供たちは各々に将来の夢や希望を胸に抱いている。その実現を後押しするために、学校は何より一人一人に着実に力を付けさせなくてはならない。「ぼくは宇宙飛行士になりたいけれど、理科が苦手だから諦めよう…」などということ前期義務教育段階である小学校在学中に絶対に口に出させてはいけない。

むしろ「自分は理科以外に、算数の計算も簡単にできるようになったから、惑星探査機的设计技師もいかなあ…」といったように、さまざまな力を身に付けさせることで新たな自分の可能性に気付かせ、もっと大きく夢を広げさせるべきである。

それが次の学習意欲につながると共に、自己有用感を高めて充実した生活を実現することになる。

そして、自分に自信がもつことができれば、自然と周囲の人たちにも温かな思いを寄せることができるようにもなり、将来的な人格の高まりも期待できるはずである。

年度当初、教職員全員でこのストーリーを共有化しました。今後、お子さんから「何で勉強をしなくてはいけないの？」と問われたら、誰もが「君の将来の夢を叶えるためだよ」と答えるようにしてまいります。

更に、このような新プランのスタートにあたり、今年度はまず算数をメイン教科として児童一人一人が自力で問題を解けた喜び、それを褒められる喜びを味わえる授業を全学級で実践してまいります。一年後には「以前よりも勉強が楽しくなった!」「私って意外と凄いかも!」「将来は保育士になろうかな?」といった声を学校中に溢れさせたい!教職員一同、そのように決意しているところです。

今年度も保護者、地域の皆様にはいろいろとお力添えいただくことと存じます。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。